

令和8年度施策評価シート（評価対象年度：令和7年度）

基本政策 【分野】	活気にあふれ地球環境にやさしいまちづくり 【産業・環境分野】		施策	22_循環型社会	所管部長 取りまとめ所属	経済環境部長 清掃リサイクル課	
施策の内容	循環型社会を実現するため、行政、市民、企業によるごみの減量化・資源化の取組を推進します。						
めざす姿	ごみの減量化・資源化が進み、循環型社会を実現しています。						
重点事業	資源リサイクルセンター管理運営事業		草木類分別収集・資源化事業				
施策構成事業	ごみ減量化・再資源化推進事業費		生活環境美化推進事業費			環境美化啓発事業費	
評価							
進捗評価	順調	評価の 判断理由	重点事業の取組は、計画どおりに進捗しており、その結果、成果指標である可燃ごみの排出量については、令和9年度の目標値を上回る結果となりました。 その他の施策構成事業については、資源化率が向上しており、施策は順調に進捗していると判断できます。				
施策推進上の課題・ 環境変化	可燃ごみ排出量の減少は順調であるものの、その要因として景気低迷や人口減少も影響している可能性があります。また、市民意識調査で家庭ごみの減量・分別排出に取組んでいると答える市民の割合が増加に転じ、家庭からの資源化量が増加しましたが、根本的な「ごみを出さない」というライフスタイル（リデュース）の実践をさらに市民・事業者双方に促す必要があります。 SDGs目標達成への貢献、プラスチック資源循環促進法の本格運用、国際的な資源価格の変動など、廃棄物行政を取り巻く社会情勢は急速に変化しています。この変化は、リサイクル市場や市民の行動にも直接影響を与える可能性があります。これらの動向を常に注視し、単に法規制に対応するだけでなく、市民参加の機会を創出した施策展開が求められます。						
評価の経過	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	順調	順調	順調				
施策推進の方向性							
方向性	継続						
総評・今後の施策 推進方針	本市が目指す循環型社会の実現のためには、市民一人ひとりの意識と行動を最大限に活かし、変化する社会情勢に対応しながら、持続可能なごみの減量化・資源化を推進することが不可欠です。市民意識調査の結果が改善し、家庭からの資源化量が増加しているというポジティブな動向を最大限に活かし、ごみの減量化・資源化に関する意識と行動をさらに定着・発展させます。特に令和8年度から開始した資源プラスチック分別収集の定着、草木類ステーション収集の周知、「ごみを出さないライフサイクル」の実践など、資源循環全体への理解を深める働きかけを強化します。						
成果指標							
成果指標名	現状値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 9
指標の定義		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値(方向性)
可燃ごみの排出量	22,931t (R3)	21,872t	20,979t	20,409 t			21,254t
可燃ごみの排出量							
ごみの資源化率	24.3% (R3)	24.9%	28.2%	28.9%			32.5%
総ごみ排出量に占める資源化率							
家庭ごみの減量・分別排出に 取り組んでいる市民の割合	86% (R4)	85.%	82.1%	84.4%			↗
市民意識調査で「取り組んでい る」「どちらかといえば取り組ん でいる」と回答した人の割合							
重点事業の取組内容							
事業名	資源リサイクルセンター管理運営事業						
事業内容	ごみの減量化と資源化を図るため、資源リサイクルセンターの管理・運営を行います。 また、令和8(2026)年度からのプラスチック使用製品廃棄物（製品プラ）の分別収集開始に向けて、中間処理委託の実施や市民への周知を実施します。						
取組工程	項 目	令和7年度					
		計画			実績		
	燃やすごみに含まれるプラスチックの組成分 析調査の実施	調査・検証			調査・検証		
	製品プラの分別収集	モデル地区での実証実験／市民への周知			モデル地区での実証実験／市民への周知		
	中間処理委託	容器包装プラスチック及びペットボトルの中 間処理委託の開始			容器包装プラスチック及びペットボトルの中 間処理委託の開始		
令和7年度 取組内容	資源回収拠点の開設	協力事業者と資源受入体制の調整及び開始／ 市民周知			協力事業者と資源受入体制の調整及び開始／ 市民周知		
	令和8年度から開始する資源プラスチック分別収集に向け、燃やすごみに含まれるプラスチック組成分析調査、モデル地区での実証実験や市民周知、中間処理委託の開始、資源回収拠点の開設を計画的に実施しました。						

事業名	草木類分別収集・資源化事業		
事業内容	燃やすごみの減量化・資源化を促進するため、草木類の分別収集を実施します。 また、分別収集の効率化を図るため、収集サポートシステムを活用し、可燃ごみ収集委託業者との連携により、集積所における排出情報の共有等を行います。		
取組工程	項 目	令和7年度	
		計画	実績
	ステーションデータのデジタル化	ステーションデータの管理	ステーションデータの管理
	分別収集に向けた市民周知	広報紙、ホームページ等での周知	広報紙、ホームページ等での周知
	委託業者と連携した分別収集の実施	分別収集の実施	分別収集の実施
	破袋・異物除去作業	作業スペースの整備／破袋・異物除去作業	作業スペースの整備／破袋・異物除去作業
令和7年度 取組内容	市広報紙やホームページを通じて分別収集の市民周知を継続しています。資源化量は、前年度比104%の1,242トンと増加しました。		
重点事業以外の取組内容			
令和7年度 主な取組内容	●ごみ減量化・再資源化推進事業費に係る取組では、木質系粗大ごみの資源化については、前年度比90%と減少したものの、安定的に資源化できる体制を構築しています。また、生ごみ処理機器の購入補助では36件補助し、生ごみの資源化に寄与しました。また、令和7年度から粗大ごみ等の中から再利用可能な製品をリユース業者に引き渡すリユース事業を開始しました。 ●生活環境美化推進事業費では、いせはらクリーンデーを実施し、市民の環境美化意識の高揚を図りました。 ●環境美化啓発事業費に係る取組では、公園緑花まつりと同時開催しているリサイクル展において、リユース家具の販売（254点）、食品ロス削減のためのフードドライブの実施（11品）、リサイクル促進に関する展示やクイズ、段ボールを再利用した迷路（445人）を実施しました。また、美化活動や清掃事業、保健事業等の活動を積極的に推進している個人や団体を表彰（11人、1団体）しました。 ●その他、出前ミーティングや施設見学の実績などを通じてごみの減量化・資源化に対する啓発活動に取り組みました。		